



12月

ももぐみだより

2021年12月1日
社会福祉法人尚徳福祉会
おぐら保育園

早いもので今年も残り1ヶ月となりました。クリスマスソングやイルミネーションなど、あちらこちらでクリスマスの雰囲気を楽しめる季節になりました。園庭で遊んでいると冷たい風が吹き抜け、冬の寒さを感じるようになってきましたが、「お部屋に入るよ」と子どもたちに声をかけても「入らない。まだ遊ぶ!」と寒さを吹き飛ばしてしまうほど、元気いっぱい遊んでいます。



うた大好き



最近「めだかの兄弟」を覚えてうたっています。1番はすすめが「チュンチュン」と鳴くのに合わせて、手を羽のように上下に動かして踊り、2番の子猫は「ニャンニャン」と招き猫のポーズをして歌います。3番ではめだかになって「スイスイ、スイスイ」と平泳ぎのように手を動かして可愛く踊っています。簡単な踊りなのですぐに覚えることができ、子どもたちから人気があります。

今月はクリスマスソングを歌いたいと思います。クリスマスまでに覚えてお家で披露してくれるのを楽しみにしててください。

BABY SHARK

ハサミを使った制作の第3弾が完成しました。ベイビーシャークの歯をハサミで三角に切り、のりで貼り付け、目をマジックで描き貼りました。最後にベイビーシャークの周りに、トイレトペーパーの芯を使って、絵の具でたんぼ

をして水しぶきの水泡で彩りました。作業工程がたくさんありましたが、個性あふれる作品が出来上がりました。



おさんぽ



「お散歩に行くよ!」と声を掛けると、いつもより外に行く準備が早くでき、「先生まだ?」と入口に集まって待っている子どもたち。散歩の途中では草や花、虫など気付いた時には「お花が咲いてるね」「あっ、ちょうちょ」「まつぼっくりだ!」と嬉しそうに教えてくれます。また子ども同士で見つけたものを「あそこにあるよ!」「みえた」などと教え合う姿が見られました。散歩に行く回数を増やししながら、徐々に歩く距離も伸ばしていきたいと思います。

きがえ

先半月頃からは、着替えをすることに興味をもつ子が増えてきました。今までもズボンやパンツは1人で脱着できていましたが、肌着やTシャツも脱着できるようになってきました。長袖Tシャツは袖から手を抜くのが少し難しいようですが、肌着はすんなりと脱いでいます。中には、頭が抜けず洋服と格闘している子もいます。出来ない時には少し手を貸しつつ「自分でやろう」とする一生懸命な気持ちを見守っています。保育者が脱いだ服を畳んでいる姿を見て、自分流に畳んで汚れ物カゴに入れていきます。着替えが終わると「先生、おきがえした!」とじまんげな顔をみせてくれます。